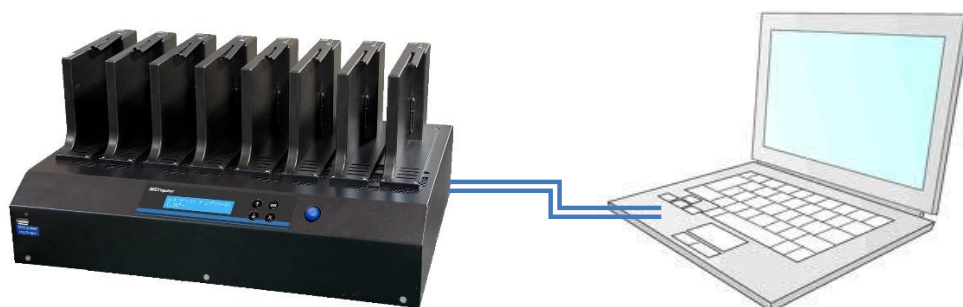


HDD デュプリケータ用

PC-Link (LV07H) 操作ガイド



目次

1. はじめに P2
2. PC-Link のインストール手順 P3
2. 1 PL-2303 ドライバのインストール P3
2. 2 PC-Link のインストール P4
3. PC-Link の操作方法 P5
3. 1 デュプリケータと PC の接続 P5
3. 2 デュプリケータ名の変更方法 P6
3. 3 プロセスのモニタリング P7
3. 4 ログ情報の収集と保存方法 P8
4. iSecuLog (改ざん判定) ソフトウェアの使い方 P11
4. 1 iSecuLog ソフトウェアのインストール P11
4. 2 iSecuLog の使い方 P11

1. はじめに

PC-Link は、デュプリケータ装置と PC を USB ケーブルで接続し、デュプリケータ装置の作業状態をリアルタイムで監視したり、ログ情報を表示・保存するためのソフトウェアです。

機能

- HDD デュプリケータの各ポートの情報(状態、進捗、容量、モデル名、シリアル番号、など)を PC 画面で手軽に把握することができます。
- 指定期間のログ情報を PC のスクリーン上に表示できます。
- ログ情報を PC にテキストファイルとして保存できます。
- PC に保存されたログ情報が改竄(かいざん)されたかを判定できます。(iSecuLog 機能)

対応デュプリケータ: HDD/SSD デュプリケータ・イレーサ

- JetCopier HDC-IT***G シリーズ
- JetCopier HDC-MT***G シリーズ

推奨 PC 環境

- OS Windows7 / 8 / 8.1 / 10
- CPU 2GHz 以上
- HDD 200MB 以上

PC-Link ソフトウェアは、次の手順(1)～(2)でインストールします。

(1) PL-2303 ドライバのインストール。

(USB 接続したデュプリケータ装置本体と PC の通信用ソフトウェアです。)

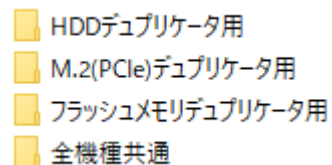
(2) PC-Link のインストール。

本取扱説明書内に記載のファイル名のバージョン(_v xxxx)は、
出荷時期により変わることがあります。

2. PC-Link ソフトウェアのインストール手順

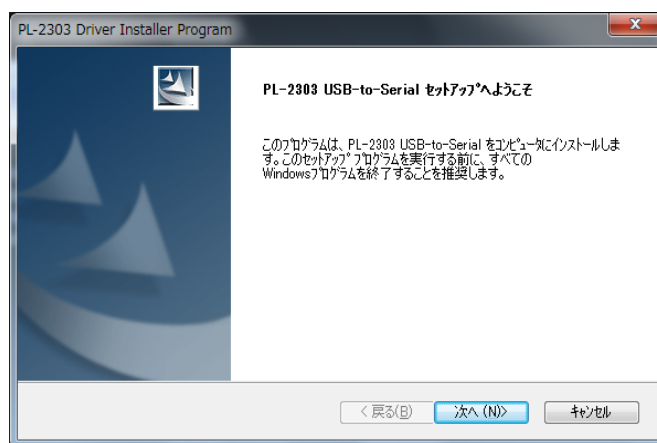
2. 1 PL-2303ドライバのインストール

- ① PC-Link の CD ディスクを PC の光学ドライブに入れ、マイコンピュータからディスクを開くと、次のフォルダが表示されます。

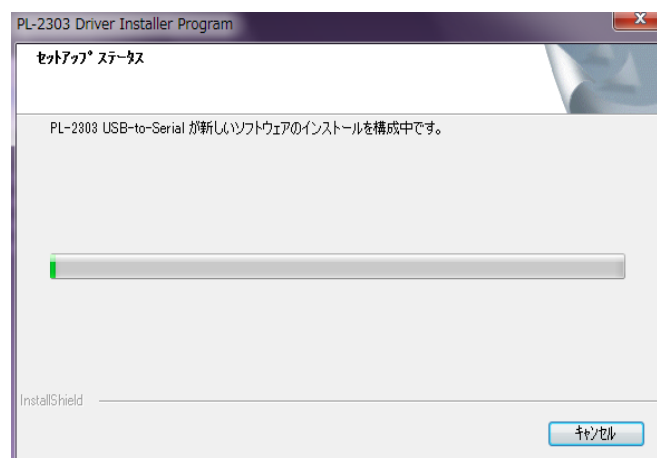


- ② 「全機種共通」フォルダ内の「PL2303_Prolific_DriveInstaller_v1.12.0.exe」ファイルのアイコンをダブルクリックし、インストールを開始します。

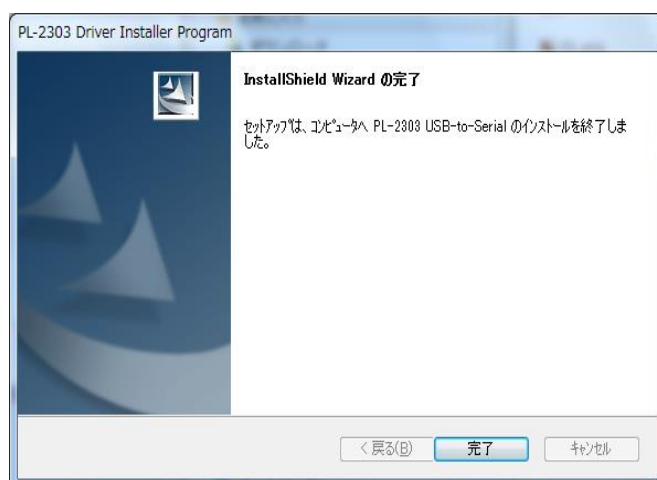
- ③ ドライバのインストール開始画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



- ④ ドライバのインストールが始まります。

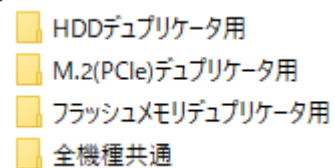


- ⑤ ドライバが正しくインストールされると終了画面が表示されるので、「完了」ボタンを押してください。



2. 2 PC-Linkのインストール

- ① PC-Link の CD ディスクを PC の光学ドライブに入れ、
マイコンピュータからディスクを開くと、次のフォルダが
表示されます。



- ② PC のデスクトップに「PC-Link」フォルダを作成し、
「HDD デブリケート用」フォルダ内からの以下の
ファイルをコピーします。

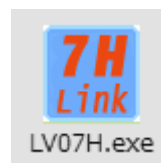
LV07H-1.04.3.exe

ファイル名のバージョン(v xxxx)は、
出荷時期により変わることがあります。

- ③ ログ改ざんチェックソフト「iSecuLog」を使う場合は、
「全機種共通」フォルダ内の以下のファイルもコピーします。

LV07Z-1.02.2.exe

PC-Link フォルダ内に PC-Link のアイコンが作成され、
このアイコンをダブルクリックして PC-Link を起動します。



なお、「iSecuLog」については第4項で説明します。

3. PC-Link の操作方法

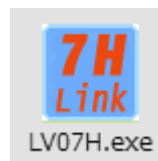
3.1 デュプリケータと PC の接続

- ① HDD デュプリケータ装置と PC を USB 接続します。

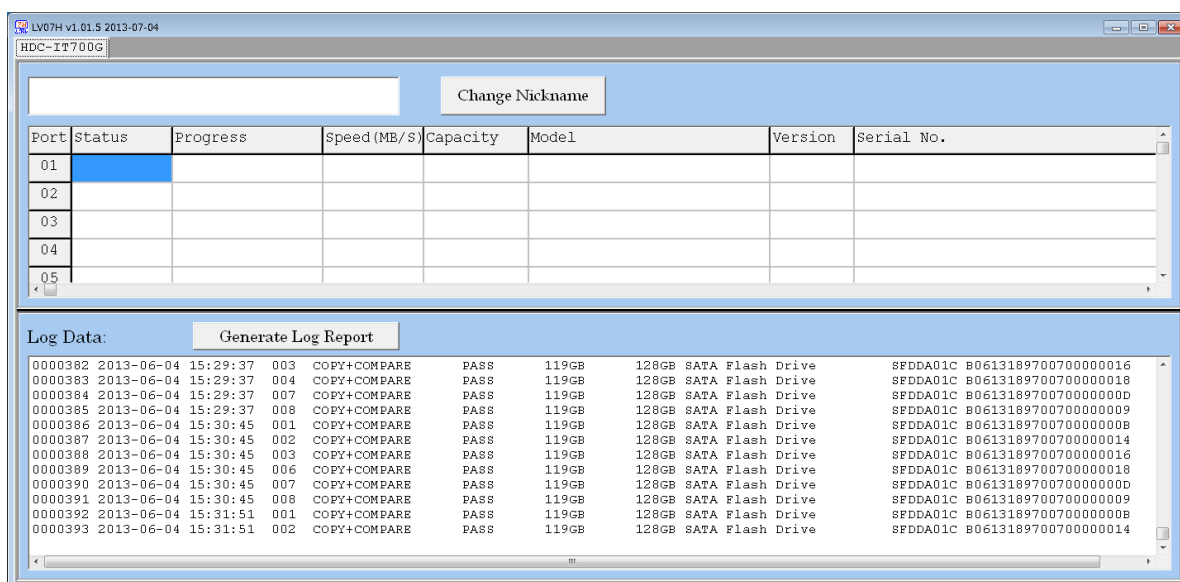
デュプリケータの本体背面にある USB ポート(タイプ B)と PC の USB ポート(タイプ A)を付属の USB ケーブルで接続します。



- ② PC-Link のアイコンをダブルクリックし、実行します。



- ③ PC-Link が起動し、デュプリケータ装置が正しく認識されると次の画面が表示されます。

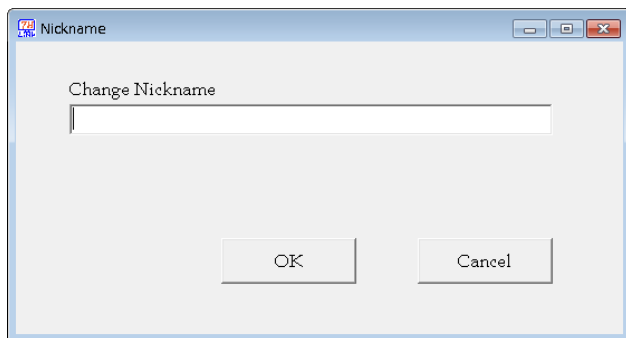


3.2 デュプリケート名の変更方法

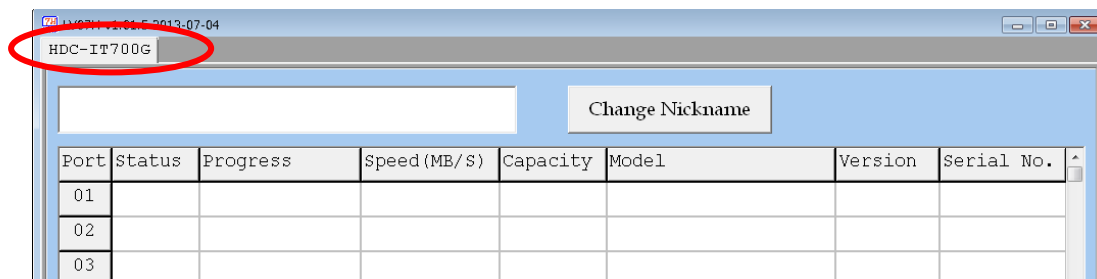
PC-Link に表示されるデュプリケート装置名は、任意に変更することができます。
分かりやすい名称に変更することをお勧めします。

変更方法

画面右上にある「Change Nickname」ボタンをクリックすると、下図の画面が立ち上げられます。
ここに新しいデュプリケート名（ニックネーム）を入力し、「OK」ボタンをクリックして下さい。



例として、HDC-IT700G を入力すると、次から左上のタブのデュプリケート装置名が“HDC-IT700G”と表示されます。



Port	Status	Progress	Speed (MB/s)	Capacity	Model	Version	Serial No.
01							
02							
03							

3.3 プロセスのモニタリング

実行中の処理は、リアルタイムでモニタリングされ、画面に表示されます。

※『コピー』実行中の画面

LV07H v1.01.5 2013-07-04
HDC-IT700G

COPY

Port	Status	Progress	Speed (MB/S)	Capacity	Model	Version	Serial No.
01	READ	4.59% (21.4G)	132.16	466GB	ST500DM002-1BD142	KC45	Z3T97PPH
02	WRITE	4.59% (21.4G)	117.64	466GB	ST500DM002-1BD142	KC43	Z2AA5BY5
03	WRITE	4.58% (21.3G)	117.63	466GB	ST500DM002-1BD142	KC45	Z2AW0LXF
04	WRITE	4.59% (21.4G)	114.89	466GB	ST3500418AS	CC34	6VM2H629
05	WRITE	4.55% (21.2G)	113.41	466GB	ST3500411SV	CV15	5VMQ3F7D
06							
07							
08							

Log Data:

```
0000707 2013-07-25 13:45:26 003 COPY+COMPARE PASS 298GB WDC WD3200BPVT-00JJ5T0
0000708 2013-07-25 13:45:26 004 COPY+COMPARE PASS 298GB WDC WD3200BPVT-00JJ5T0
0000709 2013-07-25 14:21:31 001 COPY+COMPARE PASS 74.5GB WDC WD800JD-00MSA1
0000710 2013-07-25 14:21:31 002 COPY+COMPARE PASS 74.5GB ST380815AS
0000711 2013-07-25 14:31:59 001 COPY+COMPARE PASS 466GB ST500DM002-1BD142
0000712 2013-07-25 14:31:59 002 COPY+COMPARE PASS 466GB ST500DM002-1BD142
0000713 2013-07-25 14:39:56 001 COPY+COMPARE PASS 74.5GB WDC WD800JD-00MSA1
0000714 2013-07-25 14:39:56 002 COPY+COMPARE PASS 74.5GB ST380815AS
0000715 2013-08-06 17:16:54 001 COPY PASS 466GB ST500DM002-1BD142
0000716 2013-08-06 17:16:54 003 COPY FAIL 466GB ST500DM002-1BD142
0000717 2013-08-06 18:09:50 001 COPY PASS 466GB ST500DM002-1BD142
```

表示項目の説明

- Port: ポートを示します。ポート 1 がソースになり、他のポートはターゲットになります。
- 処理内容: 処理の種類を示します。
- 状況: 処理の進捗を示します。
- 速度 (MB/S): 速度を表します。
- 容量: ドライブの容量を示します。
- 品名: ドライブの型名を示します。
- バージョン: ドライブのファームウェアバージョンを示します。
- シリアル番号: ドライブのシリアル番号を示します。

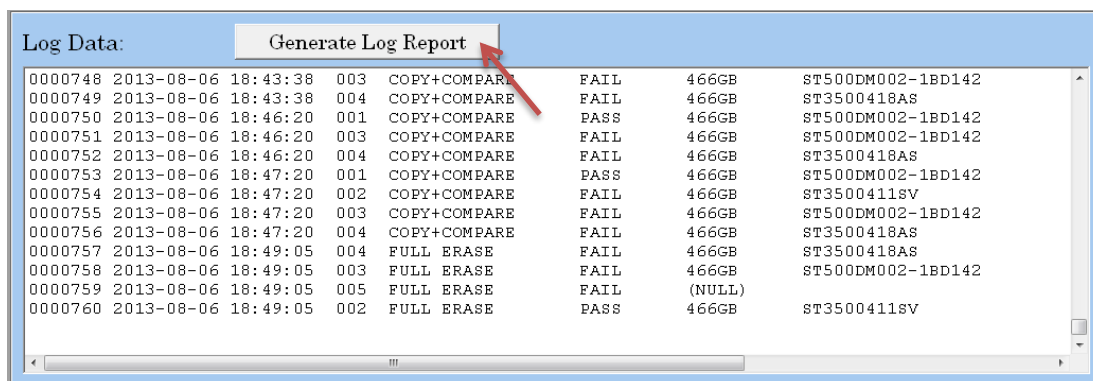
3. 4 ログ情報の収集と保存方法

ログ情報画面には、処理が完了したドライブの情報が随時追加されます。

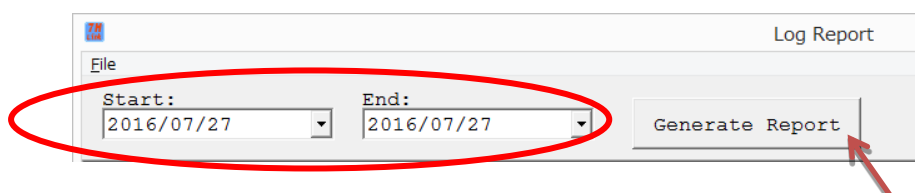
PC-Link 起動直後または、全てのドライブの処理が完了し装置の「ESC」ボタンを押してメニューに戻った状態で、左上に「STANDBY」と表示されている時には、ログ情報画面上の「Generate Log Report」ボタンを押すと、ログファイル(テキスト形式)を保存することができます。

以下は、ログ情報の収集とファイルへの保存手順の説明です。

- ① ログ情報上の「Generate Log Report」ボタンをクリックすると、ログ情報の収集期間の入力画面が表示されます。



出力するログデータの期間を指定し、「Generate Report」ボタンをクリックします。

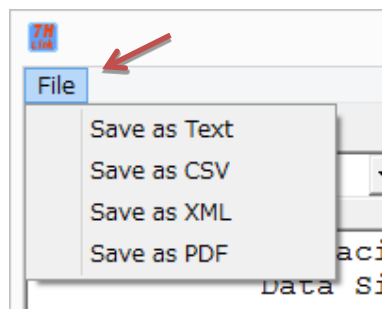


指定した期間のログが生成され、ログ画面に表示されます。

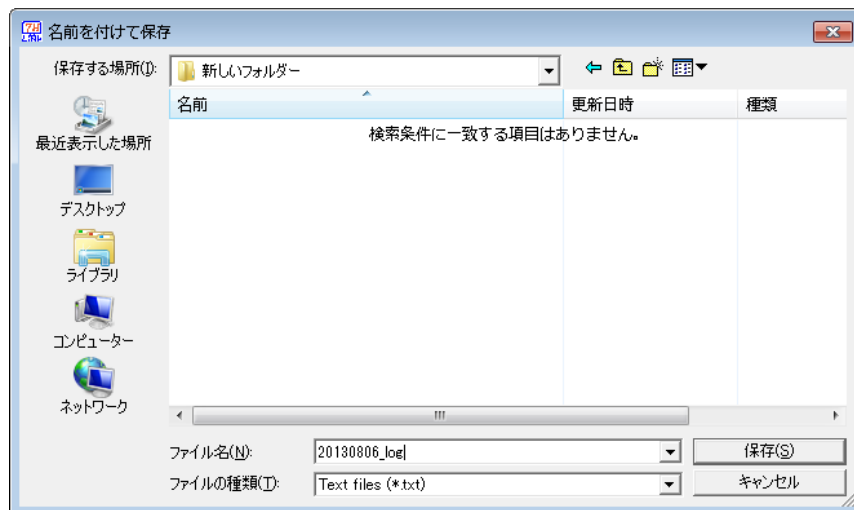
ログ情報は、以下の 4 種類のファイル形式で PC 内に保存することができます。

- **テキストファイル(.txt)**
メモ帳などのテキストエディタや各種ビューアで開ける一般的な形式です。
- **CSV ファイル(.csv)**
Microsoft Excel などの表計算ソフトで開ける表組みされた形式です。メモ帳などのテキストエディタで開くとカンマ(,)で区切られているため「カンマ区切り形式」とも呼ばれます。
一行目には項目名が入ります。証明書発行のソフトなどで利用しやすい形式です。
- **XML ファイル(.xml)**
<項目名>と</項目名>で構成されたタグに囲まれる形で、各項目の文字や数値が入っている形式です。
- **PDF ファイル(.pdf)**
Adobe Reader で表示できる電子文書の標準形式です。
テキストファイルと同じ内容ですが、専用のエディタがなければ再編集ができないため、簡易的な改ざん防止になります。メールに添付したり、印刷する場合などに扱いやすいため便利です。

ウィンドウ左上の「File」をクリックして表示されたメニュー「Save to Text File」をクリックし、保存したい形式を選んでクリックして下さい。（下図）



名前を付けて保存のウィンドウが開きますので、ファイル名を入力し、保存先に任意のフォルダを選んでから「保存」ボタンをクリックします。（下図）



保存されたテキストファイルの例

Print Date : Fri Jul 26 17:14:24 2016

Machine Name : HDC-IT1500G

Machine Model : HD3464

Machine Version: 2.32.2

Machine ID : 34640.14375.57574.48087.55808

Port Quantity : 16

startNo Date : 2013-07-26

endNo Date : 2013-07-26

=====
Job: COMPARE

Time Start: 2013-07-26 10:21:15

End: 2013-07-26 10:22:17

Source HDD Model : WDC WD5000AVCS-632DY1

Version : 01.00A01

Serial Number : WD-WCAV9CK30475

Capacity : 465.7GB(976773168 sectors)

Data Size : 465.7GB(976773168 sectors)

copy Area : Whole HDD

Quantity Total: 15

Pass: 0

Fail: 15

[Fail Record]

Port:02, 2013-07-26 10:21:15 (61seconds) [WDC WD5000AVCS-632DY1] [01.00A01] [WD-WCAV9DE08809] 465.7GB(976773168)

Port:03, 2013-07-26 10:21:15 (61seconds) [WDC WD5000AVCS-632DY1] [01.00A01] [WD-WCAV9DE75472] 465.7GB(976773168)

Port:04, 2013-07-26 10:21:15 (61seconds) [WDC WD5000AVCS-632DY1] [01.00A01] [WD-WCAV9DE12177] 465.7GB(976773168)

Port:05, 2013-07-26 10:21:14 (61seconds) [WDC WD5000AVCS-632DY1] [01.00A01] [WD-WCAV9DE08659] 465.7GB(976773168)

Port:06, 2013-07-26 10:21:14 (61seconds) [WDC WD5000AVCS-632DY1] [01.00A01] [WD-WCAV9DE11984] 465.7GB(976773168)

Port:07, 2013-07-26 10:21:14 (61seconds) [WDC WD5000AVCS-632DY1] [01.00A01] [WD-WCAV9DE78958] 465.7GB(976773168)

Port:08, 2013-07-26 10:21:14 (61seconds) [WDC WD5000AVCS-632DY1] [01.00A01] [WD-WCAV9DE07183] 465.7GB(976773168)

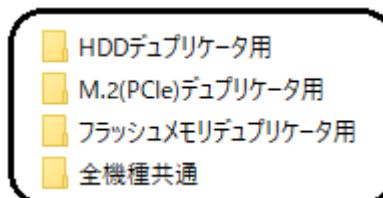
4. iSecuLog(改ざん判定)ソフトウェアの使い方

iSecuLog は、デュプリケータ装置から取出したログ情報が改ざんされていないかを判定するソフトウェアです。判定対象となるログ情報ファイルは、PC-Link を使用して保存したログファイル(3.4 項参照)です。

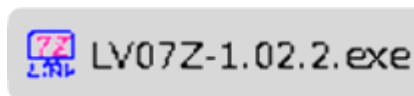
(※デュプリケータ本体の機能を使って保存したログファイルは、判定対象ではありません。)

4. 1 iSecuLog ソフトウェアのインストール

- ① PC-Link の CD ディスクを PC のドライブに入れ、マイコンピュータからディスクを聞くと、次のフォルダが表示されます。

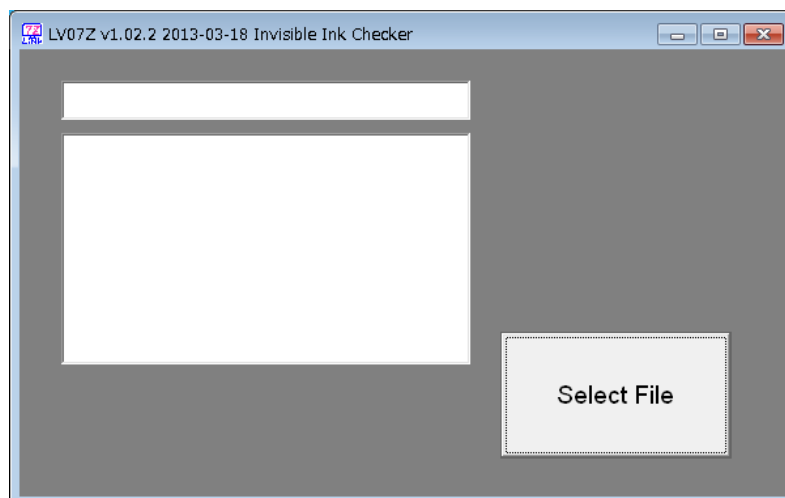


- ② PC のデスクトップに「PC-Link」フォルダを作成し、「全機種共通」フォルダ内から次のファイルをコピーします。
これにより iSecuLog のアイコンが作成されます。
このアイコンをダブルクリックすると、iSecuLog を起動することができます。



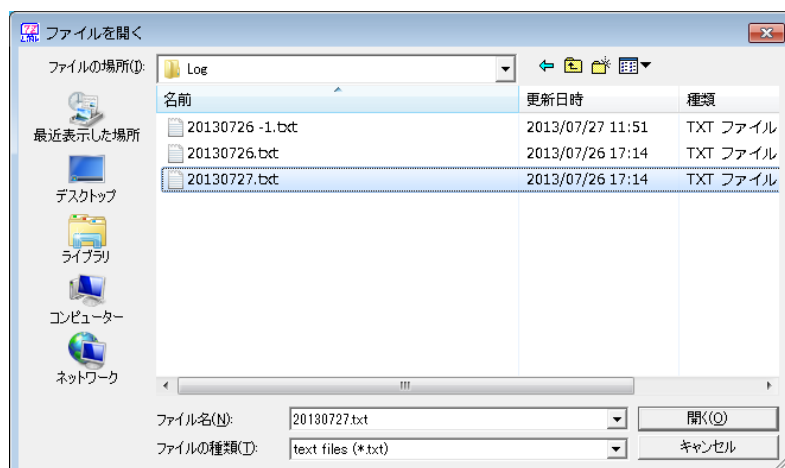
4. 2 iSecuLog の使い方

- ① iSecuLog アイコンをダブルクリックすると、iSecuLog が起動して次の画面が表示されます。

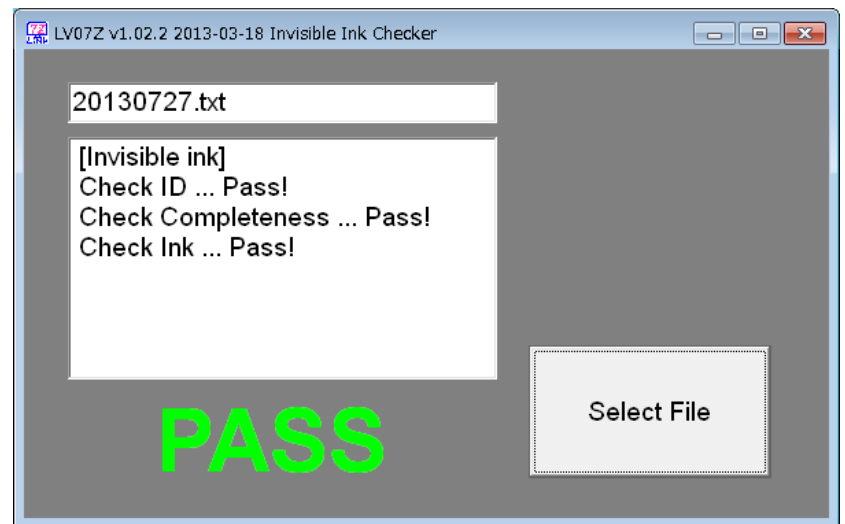


- ② 「Select File」ボタンをクリックすると「ファイルを開く」画面が表示されます。

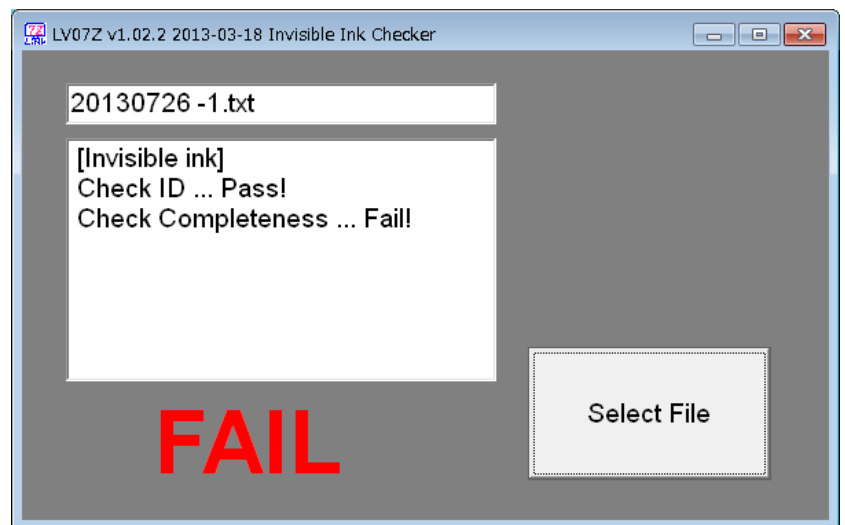
- ③ ログ改ざんを判定したいログ情報ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



直ちに改ざんチェックが行われ、
改ざんが無ければ**成功(PASS)**
画面が表示されます。



もし、ログ情報ファイルに何らか
の変更が加えられていると、
失敗(FAIL)画面が表示されま
す。



以上

製品の取り扱い・修理に関するご相談窓口

株式会社 創朋



infosoho@soho-jp.com



03-5812-2153

受付時間：平日 10:00～18:00(休業日を除く)

本取扱説明書の内容は予告なく変更する場合がございます。

Doc#

v1.04.3

220415

株式会社 創朋

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-6-1 斉藤ビル3F

TEL. 03-5812-2153 FAX. 03-5812-2152 <http://www.soho-jp.com>

Copyright© 2022 SOHO Corp. All rights reserved. 権利者の許諾なく複製および改変することを禁止します。